

「日本人の体型・症例にマッチした整形外科用インプラントの開発による、QOLの向上と医療費の削減に貢献する活動」

■取組の目的

年間80,000例以上あるといわれている「大腿骨転子部骨折」に使用するインプラント（SFN）の約9割は海外製品である。日本の患者・ドクターの為の製品を開発し、納得の医療を提供してもらう。

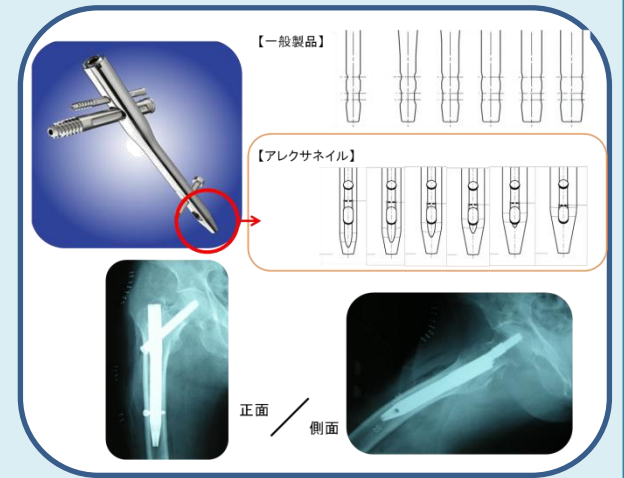
■概要

日本のドクターが抱えている「日本人の骨格に合っていない」「日本のドクターのニーズに合っていない」

「医療環境・文化の違い」による不満や違和感を解消する為、日本のドクターの声を大切に『シンプルかつ多機能』な製品を開発しました。


■ポイント

- 日本人専用デザイン…日本人の骨格を徹底的に研究しました
- 広い適応力…さまざまな骨折型や術中判断に適応する
- 多機能な製品にありがちな煩雑さをなくす…専用手術器械にもこだわりました
- 高い安全性…特許取得・意匠登録をいたしました
- コストパフォーマンスに優れている




「日本人の体型・症例にマッチした整形外科用インプラントの開発による、QOLの向上と医療費の削減に貢献する活動」

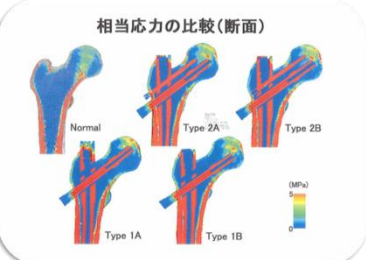
【第一世代】



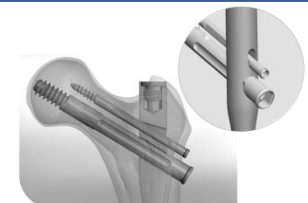
【第二世代】



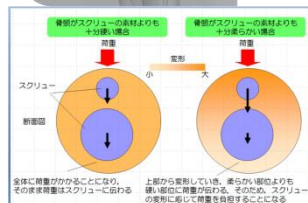
相当応力の比較(断面)



金沢大学機械工学系 教授 坂本二郎先生

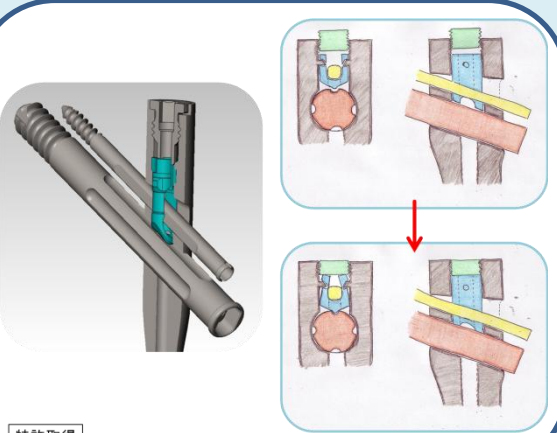


骨部がスクリューの素材より柔らかい場合
骨部がスクリューの素材より硬い場合



全体に荷重がかかることになり、その結果関節はスクリューに依存する。 上部から変形している。柔らかい部分より硬い部分に荷重がかかる。そのため、スクリューの変形に応じて荷重を分散させることになる。

意匠登録 九州産業大学 工学部 バイオロボティクス学科 教授 日垣秀彦先生



特許取得

quality products for Every Partner



イーピーメディックは、「大切な人」の為に「ものづくり」をしています。

株式会社イーピーメディック

代表取締役社長 田部 公資
 所在地：福岡県筑紫野市上古賀
 設立：平成16年（2004年）
 資本金：3,500万円
 従業員：6名

九州ヘルスケア産業推進協議会(HAMIQ)
 The organization to promote the Health-care And Medical device Industry in K(Q)yushu